

山野交流センター

青少年育成南砺市民会議
井波支部・山野単位会議



山野地域づくり協議会の発足

山野地域づくり協議会会長 大浦 英 征

令和の新しい時代を迎えようとする四月一日に、小規模多機能自治体制への移行を受けて「山野地域づくり協議会」が発足しました。

近い将来に訪れる人口の減少・少子高齢化に伴い、山野地区にもいような課題や問題が予想されます。それらに対応するため、従来から地区で活動していた自治振興会・公民館・社会福祉協議会の三組織を中心に、「山野地域づくり協議会」としたものです。

この組織発足にあたり、小規模多機能自治準備委員会を設け、地区の皆さんへのアンケートも実施して、新組織への移行を検討してきました。ご協力頂いた地区の皆様・準備委員会のメンバーの方々、大変ありがとうございました。

新組織は、各自治会・町内会の代表及び各団体の代表の方々と構成し、意思決定する「総会」・活動を審議承認する「役員会」・活動を企画し執行する「四つの部」で構成しております。

当面の活動については、従来から地区で活動してきた各行事等を踏襲するとともに、準備委員会が出された意見を尊重して新たな視点に立った活動もしていきたいと思えます。

地区の課題や問題の提起については、山野交流センター（旧山野公民館）に平日常駐することになった事務局長・地域指導員に申し出て頂きたいと思えます。また、諸行事を実施するに当たっては、地区民皆様のご意見を聞かせて頂くとともに多くの皆様の参加をお願いいたします。



総務部として

総務部長 高田 実

今年度から、生涯学習・社会福祉・地域（住民）自治を包括した組織「山野地域づくり協議会」として再出発しました。皆様ご承知の通り、「四部体制」で新旧の各種事業に取り組みわけですが、総務部としての最大の事業は、山野地域の方々と協議会活動をつなぎ、理解を深めていただく広報活動であると思っています。

歴史のある「広報やまの」をさらに充実させ、皆様の社会参加を後押しするように工夫を凝らしていきます。

また、公民館の時に開設されたホームページも活用し、地区内外へ「住んで楽しい山野」を発信してまいります。

まずは、初年度のことでもあり、至らないところもあるかとは思いますが、皆様の各種事業への参加、参画をお願いいたします。



防災安全部として

防災安全部長 吉田 平進

防災に対する考え方として、自助・共助・公助というのがあります。自助は、災害時に自分自身の命は、自分で守ること。共助は、町内会や学区くらい顔が見える範囲内における地域コミュニティで、災害発生時に力を合わせる。公助は、公的機関が個人や地域では解決できない災害の問題を解決することをいいます。

防災訓練等で自助・共助の訓練を充実したものにしています。ご協力のほどよろしくお願い致します。

また、防犯活動として地域の子供たちの通学時等での「見守り活動」地域全体の安全・安心な暮らしに向けて、防犯組合と連携し「青色パトロール」の実施と啓蒙活動にも努めていきます。



健康福祉部に思う

健康福祉部長 川上 久志

『だれもが、いつまでも、健やかに、安心して生活できるまちづくり！』

そのために、健康福祉部として何ができるのか。地域住民の方々の願いや期待は何か。まだ、はつきりとしたものは何も見えてはいない。小規模多機能自治という新しい体制は、始まったばかり、一歩一歩前に進むしかない。

地道に、地域住民のみなさんの思いを聞き、地域の具体的な課題を明らかにしていきたい。そして、地域住民のみなさんと健康福祉部が一体となって課題解決に向けて取り組むことができたと思う。

地域住民のみなさんのご協力をよろしくお願いいたします。



地域活性化部の役割は？

地域活性化部長 藤原 洋

「山野地域で明るく、楽しく、元気に過ごせる」ための窓口として「地域活性化部」が誕生しました。この部会に期待される役割は「空き家・放棄地対策・Uターン促進等」の行政がこれまで手を焼いできた内容から、盆踊り・文化祭・敬老会・体育事業等の地域が行ってきた事業まで多岐に渡っています。

山野地域を活性化するためには、どの内容も大切なのですが、今年度は「これまでの山野公民館（地域）の歩み」と昨年の「住民アンケート」を灯に、部員一丸となって該当する事業を一つ一つ見つめ直し、地域の皆様が明るく、楽しく、元気に過ごせるよう努めていきたいと思っております。小さな一歩になるかもしれませんが、地域の皆様のご理解、ご協力をよろしく申し上げます。

令和元年度 山野地域づくり協議会事業(計画)

平成31年			令和元年			令和2年		
4月	28日	「山野地域づくり協議会」への移行に伴う総会	10月	4日	いきいき健康サロン 第3回ケアネット委員会	11月	1日	いきいき健康サロン
令和元年			10月	25日	いきいき健康サロン	11月	15日	いきいき健康サロン
5月	21日	火 環境美化委員会総会	10月	27日	日 第38回山野地区文化祭・敬老会 〈山野交流センター〉午前9:30~	11月	16日	土 ボランティアもう1人運動
	24日	金 第1回健康福祉部会	11月	上旬	球根植えの準備	11月	中旬	チュールリップ・ムスカリ球根植え
	28日	火 第1回ケアネット委員会	11月	中旬	第4回総務部会(広報編集会議)	11月	下旬	マスコット配布
	29日	水 チャレンジデー(ラジオ体操・カローリング)	12月	1日	日 三世代交流 午前9:00~ (餅つき、ゲーム、昼食会等)	12月	3日	火 第5回総務部会(広報編集会議)
	31日	金 環境美化花植え	12月	3日	火 第5回総務部会(広報編集会議)	12月	6日	金 いきいき健康サロン
6月	5日	火 第1回スポーツ推進委員会	12月	8日	日 山野交流センター 冬の大掃除	12月	10日	火 第6回総務部会(広報編集会議)
	7日	金 いきいき健康サロン 第1回地域活性化部会	12月	20日	金 いきいき健康サロン	12月	22日	日 第1回健康マージャン会
	11日	火 第1回総務部会	12月	25日	水 「広報やまの」124号 発行	令和2年		
	14日	金 健康福祉部保健委員会	1月	上旬	新春の集い	1月	10日	日 第4回ケアネット委員会
	22日	土 第1回防災安全部会	1月	10日	日 第4回ケアネット委員会	1月	17日	金 いきいき健康サロン
	23日	日 環境美化センター敷地除草	1月	17日	金 いきいき健康サロン	2月	7日	金 いきいき健康サロン
7月	1日	月 第2回地域活性化部会	2月	中旬	第7回総務部会(広報編集会議)	2月	15日	土 ほのぼのの家
	2日	火 第2回総務部会(広報編集会議)	2月	15日	土 ほのぼのの家	2月	20日	金 いきいき健康サロン
	3日	水 第2回スポーツ推進委員会	2月	20日	金 いきいき健康サロン	2月	23日	日 第2回健康マージャン会
	5日	金 第2回ケアネット委員会 いきいき健康サロン	2月	下旬	第8回総務部会(広報編集会議)	3月	6日	金 いきいき健康サロン
	10日	水 第3回総務部会(広報編集会議)	3月	6日	金 いきいき健康サロン	3月	10日	火 第9回総務部会(広報編集会議)
	19日	金 いきいき健康サロン	3月	10日	火 第9回総務部会(広報編集会議)	3月	14日	土 第3回健康福祉部会
	22日	月 立山登山説明会	3月	14日	土 第3回健康福祉部会	3月	20日	金 いきいき健康サロン
25日	木 「広報やまの」123号 発行	3月	20日	金 いきいき健康サロン	3月	25日	水 「広報やまの」125号 発行	
8月	2日	金 いきいき健康サロン	3月	25日	水 「広報やまの」125号 発行	新規事業「地域の話し合い」促進事業 計画 山野地域で楽しく元気に過ごせるための話し合いを行います。 8月から月1回のペースで3回ほど、行う予定です。 昨年10月に行った小規模多機能自治に関するアンケート結果に基づき、私たちの課題等を話し合い、その解決策に取り組むものです。		
	3日	土 立山登山…午前6:00~ (雄山山頂、浄土山、みくりが池コース)	3月	下旬	第41回バレーボール大会			
	4日	日 山野交流センター夏季大掃除	3月	下旬	第41回バレーボール大会			
	10日	土 三世代ふれあい活動 (除草、ラジオ体操会、防災訓練) 〈山野保育園グラウンド〉午前6:00~	3月	25日	水 「広報やまの」125号 発行			
	15日	木 戦没者慰霊祭…午後5:00~ 〈山野忠魂碑前〉 第29回三世代交流盆踊り大会 〈J A倉庫前〉 午後7:30~	3月	25日	水 「広報やまの」125号 発行			
25日	日 三世代交流にこにこふれあい パークゴルフ大会 〈庄川パークゴルフ場〉午後1:30~	3月	25日	水 「広報やまの」125号 発行				
下旬	交通安全マスコット作り	3月	25日	水 「広報やまの」125号 発行				
9月	6日	金 いきいき健康サロン 第2回健康福祉部会	3月	25日	水 「広報やまの」125号 発行			
	15日	日 一斉美化運動	3月	25日	水 「広報やまの」125号 発行			
	20日	金 いきいき健康サロン	3月	25日	水 「広報やまの」125号 発行			
	29日	日 第37回山野地区体育祭 〈山野保育園グラウンド〉午後1:00~	3月	25日	水 「広報やまの」125号 発行			

令和元年度 山野地域づくり協議会 組織図

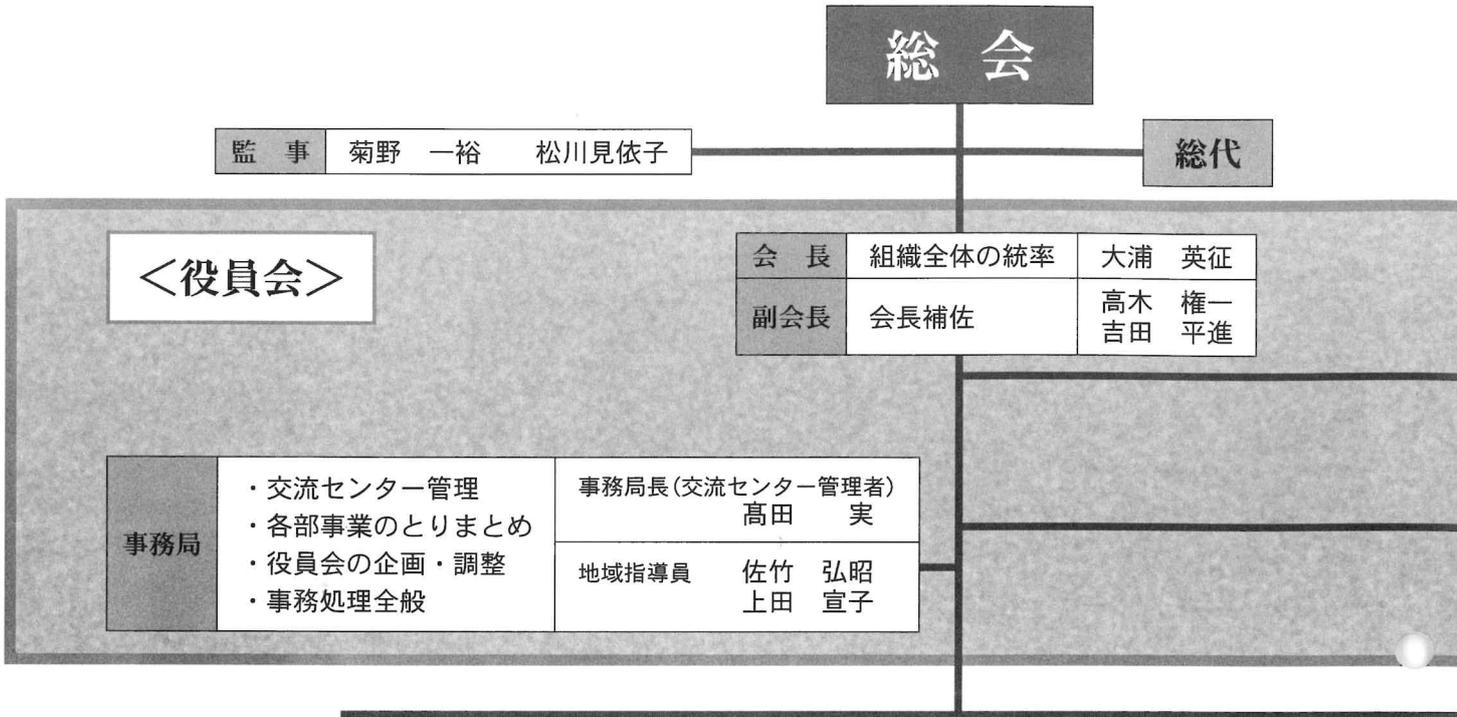
相談役 西村 一郎 南 眞司 顧問 川原 忠史 森井 孫俊

理 事	坪野自治会長 中山 栄一	飛騨屋自治会長 高田 喜義	安室自治会長 上田 清信
	高屋 " 村岡 正義	山斐 " 藤永 隆夫	野能原 " 築田 敏裕
	専勝寺 " 覚知 修三	清水明 " 磯辺 正博	岩屋 " 松川 正明
	井波軸屋 " 稲垣 貢	防災安全部長 吉田 平進	総務部長 高田 実
	地域活性化部長 藤原 洋	健康福祉部長 川上 久志	

健康福祉部		地域活性化部	
<ul style="list-style-type: none"> ・ケアネット活動 ・一人暮らし支援 ・放課後支援 ・健康づくり事業 ・高齢者向けIT教室 	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア機能 ・いきいき健康教室 ・三世代交流 ・文化祭、敬老会 ・交通支援、除雪 	<ul style="list-style-type: none"> ・住民参加型経済事業 ・農産物直売 ・空家、移住対策 ・放棄地対策 ・生活インフラ維持 ・Uターン促進 	<ul style="list-style-type: none"> ・農業体験 ・環境美化活動 ・文化祭、敬老会 ・左義長、盆踊り ・保育所との連携 ・体育事業
部 長 川上 久志(福祉活動リーダー) 協議会理事 磯辺 正博 スポーツ推進員 坂口 通 長寿会 長谷 邦威 スポーツ推進員 西村千佳子 町内会長協議会 松長 幸治 育成会 細川 竜政 民生児童委員 高田 博之 母親クラブ 田村 数枝 福祉推進委員 山本 皓 ボランティアグループ 高田かおる		部 長 藤原 洋(生涯学習リーダー) 協議会理事 藤永 隆夫 青年会 大野 弘毅 JAとなみ野 吉田 一博 育成会 小嶋 剛 長寿会 松川 禮子 母親クラブ 小嶋 栄子 青少年育成市民会議 大浦 均 スポーツ推進員 坂口 通 町内会長協議会 松川 毅 スポーツ推進員 金田 秀樹 壮年会 村岡 裕一 学識経験者 岩崎 修	
ボランティア委員会	ケアネット委員会	ふれ合い委員会	保健委員会

文化祭・敬老会実行委員会 盆踊り実行委員会 体育祭実行委員会

ケアネットリーダー(町内会長)		スポーツ推進委員	
坪野東部 平野 博文	野能原 長谷川義晃	坪野 中山 貞之	井波軸屋 吉田 陽子
坪野中部 藤原 孝志	井波軸屋 吉田 正晴	坪野 高熊 英樹	野能原 長谷川秀伸
坪野西部 西村 精志	安室 松長 幸治	坪野 吉田 茂兼	飛騨屋 坂口 通
山斐 木下 美一	清水明 磯辺 正博	山斐 崎田 健史	坪野 西村千佳子
岩屋 松川 毅	高屋 吉田 達雄	岩屋 岩元 泰也	井波軸屋 稲垣 清人
飛騨屋 大野 哲朗	専勝寺 川原 忠史	岩屋 谷川 快男	安室 金田 秀樹
福祉サポーター 永井 美月 岩崎 祐子		飛騨屋 齊藤 昭夫	専勝寺 川原 直人
		飛騨屋 高山 博文	山斐 齊藤 真二
		清水明 長谷川雅弘	岩屋 岩崎 将史
		高屋 村岡 裕一	岩屋 柴田三希子
		専勝寺 大浦 峻	飛騨屋 齊藤 昌弘
		安室 金田 雄介	



総 務 部		防災安全部	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 連携調整 ・ 交流センター管理 ・ 広報活動 ・ サークル活動支援 ・ ITでの地域外への広報 		<ul style="list-style-type: none"> ・ 防犯啓発活動 ・ 自主防災活動 ・ 通学見守り活動 ・ 防災訓練 ・ 避難訓練 	
部 長 高田 実 町内会長協議会 松川 毅 ボランティアグループ 木澤富美子 町内会長協議会 吉田 正晴 協議会理事 中山 栄一 協議会理事 高田 喜義 事務局 佐竹 弘昭		部 長 吉田 平進 協議会理事 築田 敏裕 赤十字奉仕団 岩城美智恵 防災士 谷口 繁慶 消防団 清原 久明	
協議会理事 上田 清信 協議会理事 村岡 正義 協議会理事 松川 正明 協議会理事 稲垣 貢 協議会理事 覚知 修三 事務局 上田 宣子		交通安全協会 村岡 俊行 町内会長協議会 松川 毅 女性防火クラブ 長谷川京子 協議会相談役 西村 一郎	

環境美化委員会		地域福祉推進員	
山びこ 樋爪 数子 板橋 年子 光主 武雄 直江富美子 ひまわり 木澤富美子 西田久美子 板橋 輝美 木村 久子 榎木 玲子 松川 郁子 長谷川富美子 澤田真理子 吉田佳代子		鳳泉会 高田かおる 沢田 保夫 高山 照美 永井真知子 荒木 桂子 光主 武雄 グリーンキーパー 島田 一美 松田喜美江 高山 松子 斉藤るり子 田中 春夫 海老 毅 直江 美子	
		坪野東部 酒井 隆明 坪野中部 小林 文次 坪野西部 石倉 和宏 山 斐 山本 皓 岩屋 岩元 敦子 飛驒屋 川上 裕子	
		野能原 築田 晶子 井波軸屋 稲垣 里美 安 室 古田 栄市 清水明 嶋 信夫 高 屋 吉田 達雄 専勝寺 大浦 徹	
		民生委員・児童委員 板橋 敏子 菊野寿美子 川上 久志	
		磯辺 正博 高田 博之	



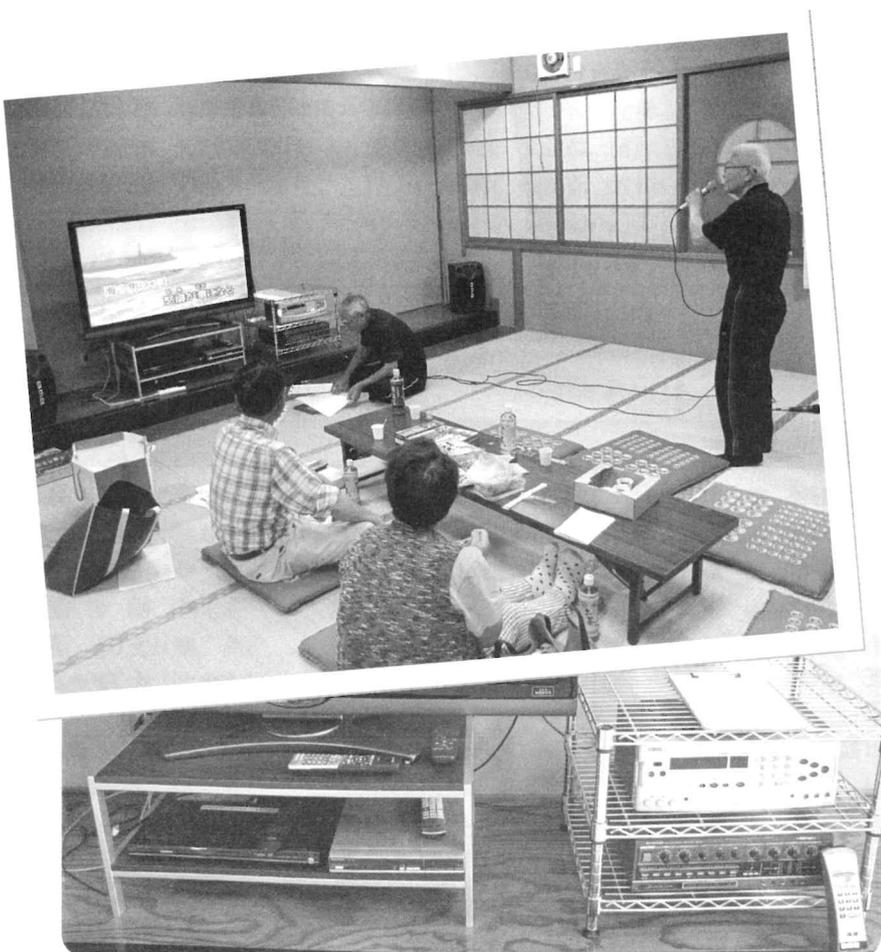
南砺市

『久しぶりに勝利』

健康福祉部
スポーツ推進委員会

令和元年5月29日、沖縄県石垣市を対戦相手として南砺市一円で午後9時まで各種のスポーツが工夫を凝らして行われました。山野地域でも地域の皆様呼びかけ、また地域内の企業にも協力を呼びかけ、職場や各地域で行われました。

山野地域では、JAとなみ野倉庫前広場での早朝のラジオ体操や交流センタースポーツ室でのカローリングが行われました。その結果、山野地域での参加者は、127名となりました。南砺市全体の参加率は50・4パーセントとなり、石垣市の41・7パーセントを上回り、4年ぶりの勝利となりました。チャレンジデーにご参加いただいた皆様に感謝すると共に日頃の健康を再認識する一日となりました。



カラオケ機器刷新

山野カラオケ広場 澤田 保夫

地域のカラオケファンより山野交流センターにカラオケセットを寄付していただきました。ありがとうございます。

当セットはカラオケ店同等の音量・音質です。

山野カラオケ広場は、毎月、第1・第3水曜日、午後7時30分より、例会を開いています。

人の歌を批評しないことをモットーに、大きな声を出すことにより、心身ともに健康な生活を送れるようにしたいと思います。皆様の参加をお待ちしています。

山野高齢者学級開講式と講演会開催

山野老人クラブ長寿会 高齢者学級副学級長 川原 和美

第一回高齢者学級の開講式と講演が、6月7日(金)42名の参加で行われました。

まず、南砺市地域包括ケア課の武種美樹さんから、健康長寿のための健康づくりのポイントについてスライド説明があり、「運動・食生活・社会参加」の三つの柱が大切であることを教わりました。

次に、南砺市に出向されている警察官の竹本光司さんから特殊詐欺の現状と対策方法等のお話があり、第一に「慌てない」次に、「相談する」ことが何より大事で、落ち着いて考えることが一番の予防策であると教わりました。

いろいろ教えて頂いたことを思い出し、いざというときには実行できたらと思います。

その後実技として、「ほつとあつとなんと体操」で参加者全員がリフレッシュして終了しました。



いごも あんどんコンクール

山野育成会会長 大浦 靖之

去る6月15日から16日にかけて、第30回高瀬遺跡菖蒲まつり子供あんどんコンクールに参加いたしました。

コンクール参加に先立ちまして、6月9日に山野交流センターにて山野地区合同であんどんづくりを行い、幼児の部4名、小学校低学年の部10名、小学校中学年の部14名、小学校高学年の部6名、中学校の部1名の計35名に参加いただきました。いずれも力作ぞろい、楽しい絵柄と鮮やかな色柄のものばかりです。

当日は、あいにくの雨となり、あんどんはビニール袋をかぶせた状態での展示となり、表彰式も例年の屋外ステージではなく、高瀬交流センターで行われました。きれいなあんどんを落ち着いて見ていただけなかったのではないかなというのが心残りです。

制作したあんどんは、例年どおりであれば山野文化祭にて展示されることと思っておりますので、



その際にご覧いただければ喜ばれるのではないかなと思います。最後に、事前の準備や後片付け等にご尽力いただきました育成会及び母親クラブ役員の方々に厚く御礼申し上げます。

コンクール結果

(山野地区関係)

幼児の部

金賞 中山 彩実(坪野)

小学校低学年の部

金賞 越山 梁(坪野)

銀賞 磯辺 知花(清水明)

小学校中学年の部

金賞 金田 龍樹(安室)

環境美化委員会の活動



5月31日、環境美化委員会の皆さんにより、山野交流センター前の花壇に花の植え付けが行われました。

カラフルな花に彩られ、センター前が明るくさわやかになりました。有り難うございました。

これからも、きれいな花が咲き続けるように、協力して、水やり、花摘みなど続けていきます。

山野交流センター 上田

編集後記

この度(123号)の紙面構成は、4月に発足した「山野地域づくり協議会」の紹介に紙面の多くが占められました。皆様には協議会を身近に知って頂けましたか？

どうぞ皆様の生の声をお聞かせ下さい。

これまでの「広報やまの」では地域の皆様の活動やイベントに紙面を割かれていました。今後も地域の活動を詳しくお知らせします。また今後も編集委員の方々にはご協力をお願いします。

交流センターには3名が在籍しています。新体制の中で試行錯誤している毎日です。山野地域の活性化に携わっていきますので、どうぞ温かいご支援を頂きますようお願いいたします。



事務局 佐竹